

## 第6学年 体育科学習指導案

日 時 令和元年9月10日(火) 5校時  
場 所 体育館  
児 童 男子6名 女子4名 計10名  
指導者 教諭 後藤 孝一

- 1 単元名 「チャレンジ 湯田小オリンピック」  
B 器械運動 ア マット運動  
F 表現運動 ア 表現

### 2 構想表

#### 指導について

##### 手立て1 課題とまとめの整合性

ポイントを押さえた練習が技の習得には大切だと考える。そのため、前時のまとめから見えてきたことを、スモールステップでおこなえるような課題を設定していく。

##### 手立て2 関わり合いの工夫

児童が運動に取り組む中でポイントをはっきり示し、1時間の中でそのポイントについて見合い教え合うことができるように児童に問いかけていく。

##### 手立て3 振り返りの充実

体育ノートに、「考えたこと」、「できたこととそのコツ」、「今回できなかったこと」、「友達の頑張り」、「今までの学習との関連」を書き込み、意図的に指名して全体で共有する。

#### 児童について

本学級の児童は音楽に合わせて体を動かすことが大好きである。アンケートの結果では10名全員が表現運動が好きだと回答している。

また、なぜ好きかという設問に対する回答は、「チームでやるのが楽しい」「物語を考えるのが楽しい」というものであった。

マット運動については嫌いという児童が3名おりその理由は「けがをするか心配」「できないから」「体がかたいから」としている。これらのことから、恐怖心を取り除き、スモールステップで学習を進めていきたい。

今回、組合せ単元にすることで、マット運動が苦手な児童についても表現で思いっきり体を動かし、運動の楽しさを味わわせることができるものと考えます。

#### 教材について

「組合せ単元」とは、1時間の中に2つ以上の単元(教材)を組み合わせる授業形態である。単独単元だと5時間で終わる教材も、組み合わせることで長く単元の運動に接することができ、運動の頻度と期間を保障することができる。また、器械運動が苦手な児童も、もう一方の単元は好きということもあり、意欲をもって学習に取り組むことができる。

本単元では「表現」5時間、「マット運動」5時間を組合せ、合計10時間の学習時間を保障し、児童の運動感覚運動技能の定着を図っていく。

前半の5時間はマット運動を主に行い、側方倒立回転を全員が安定して行えることをねらいとし、後半は表現運動を主に行い、マット運動でつかんだ逆さ感覚なども取り入れて、即興的にグループでひとまとまりの動きを表現することができることをねらいとしている。

### 3 単元の目標・評価規準

#### (1) 目標

##### ○マット運動

- ・回転系や巧技系の基本的な技を安定して行ったり，その発展技を行ったり，それらを繰り返したり組み合わせたりする。(知識及び技能)
- ・課題の解決の仕方や技の組み合わせ方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝える。(思考力，判断力，表現力等)
- ・運動に積極的に取り組み，約束を守り助け合って運動したり，仲間の考えや取組を認めたり，場や器械・器具の安全に気を配ったりする。(学びに向かう力，人間性等)

##### ○表現

- ・いろいろな題材からそれらの主な特徴を捉え，表したい感じをひと流れの動きで即興的に踊ったり，踊りの特徴を捉え音楽に合わせて踊ったりする。(知識及び技能)
- ・課題の解決に向けて，表したい内容や踊りの特徴を捉えた練習や発表・交流の仕方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝える。(思考力，判断力，表現力等)
- ・運動に積極的に取り組み，互いの良さを認め合い助け合って踊ったり，場の安全に気を配ったりする。(学びに向かう力，人間性等)

#### (2) 評価基準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
マット運動の評価規準	技の行い方を理解し，自己の能力に適した技を安定して行ったり，発展技に取り組んだりすることができる。	技の組合せ方を工夫するとともに，考えたことを他者に伝えている。	運動に積極的に取り組み，約束を守り助け合って運動したり，仲間の考えや取組を認めたり，場や器械・器具の安全に気を配ったりしようとしている。
学習活動に即した評価規準	①基になる動きを理解し，正確に行うことができる。 ②側方倒立回転ができる。 ③できる技を増やしたり，自分のできる技をより高めたりすることができる。	①課題を解決するために複数の場の中から適した場所を選んでいる。 ②グループの中で役割を決めて観察し合ったことを伝えている。	①基本形の技や発展した技に積極的に取り組もうとしている。 ②準備や片付けなど分担した役割を果たそうとしている

	知識・技能	思考・判断・表現	主体等に学習に取り組む態度
表現の評価規準	様々な題材から主な特徴を捉え，表したい感じやイメージをひと流れの動きで即興的に表現したり，グループでひとまとまりの動きにして表現したりすることができる。	課題の解決に向けて，表したい内容や踊りの特徴を捉えた練習や発表・交流の仕方を工夫するとともに考えたことを伝えている。	運動に積極的に取り組み，互いの良さを認め合い助け合って踊ったり，場の安全に気を配ったりしようとしている。
学習活動に即した評価規準	①特徴を捉え，イメージを強調するようにひとまとまりの動きで表現することができる。 ②踊りの特徴を捉え，ステップや動きを身に付けて皆で交流することができる。	①課題に応じた見合い方や交流の仕方を選んでいる。 ②良くなったところを伝えている。	①互いの動きの良さや考えの良さを認めようとしている。 ②表したいイメージを表現するために，運動に積極的に取り組もうとしている。

#### 4 単元の指導計画

	時間	1	2	3	4	5
	ねらい	学習の進め方を知ることができる。	・手と足を線の上に置くことができる。	・腰を伸ばしてゴム紐を足で払うことができる。	・膝を伸ばしてゴム紐を足で払うことができる。	・側方倒立回転を連続してできる。
			・踊りの特徴を捉え、皆で交流することができる。		・変化を付けて表したいイメージをひとまとまりの動きにまとめることができる。	
	0	1 オリエンテーション	1 整列・挨拶・学習準備・準備運動			
	10	・学習の進め方 ・の課題を知る ・準備方法 ・場の設定	2 学習内容の確認・学習課題の確認			
	25	2 課題確認	3 逆さ感覚づくり ・川跳び ・カエルの足打ち ・壁登り ・壁倒立 など		4 側方倒立回転 ・ゴム・ラインなどを使った場などを複数準備して練習する。	
		3 試しの運動	5 表現 ・フォークダンス (コロブチカ・マイムマイム)		5 表現 ・変化をつけた色々な動き (空間の崩し) ・イメージカルタで即興的に表現する	
	40	4 振り返り	6 振り返り			
評価計画	知識及び技能		マ① 観察 表② 観察		表① 観察	マ② 観察・ノート
	思・判・表			マ② 観察・ノート 表① 観察・ノート	マ① ノート	表② 観察・ノート
	学びに人間性	マ② 観察・ノート 表① 観察・ノート				
	時間	6	7	8 (本時)	9	10
	ねらい	・側方倒立回転の発展技を行うことができる。 ・テーマに合わせてひとまとまりの動きを表現することができる。			・側方倒立回転や発展技の精度を高めることができる。 ・地球をテーマに発表会の練習をすることができる。	・地球をテーマに発表会をすることができる。
	0	1 整列・挨拶・学習準備・準備運動				
	15	2 学習内容の確認・学習課題の確認				
		3 側方倒立回転・ロンダードなど				
		4 表現 ・テーマに合わせて、即興的に表現する。 ・テーマに合わせてひとまとまりの物語を音楽に合わせて表現する				
		火山噴火・台風の日 ゲリラ豪雨 集・散 上・下	宇宙探検・海底探検 地底探検 緩・急 高・低	地球誕生・森林破壊 四季の変化 止・動 緩・鋭	発表会に向けての練習をする。	発表会をする
	40	5 振り返り				
評価計画	知識及び技能			マ③ 観察・ノート 表① 観察・ノート		マ③ 観察 表① 観察
	思・判・表		マ② 観察ノート 表② 観察ノート		マ② 観察 表② 観察	
	学びに向かう	マ① 観察・ノート 表② 観察・ノート				

## 5 本時の指導（8／10）

### （1）目標

（マット運動）

- ・できる技を増やしたり，自分のできる技をより高めたりすることができる。（知識及び技能）  
（表現）
- ・グループで簡単なひとまとまりの動きにして表現することができる。（知識及び技能）

### （2）展開

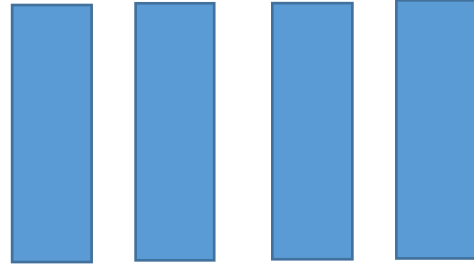
段階	学習内容と学習活動 （・児童の反応）	・指導上の留意点 □評価 <b>◆手立て</b>
導入 3分	1 整列・挨拶 2 学習内容と課題の確認  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">             できる技を増やそう              テーマに沿った動きを表現しよう           </div> 3 準備運動 ・リズムダンスを行い体と心を温める。	・指導上の留意点 □評価 <b>◆手立て</b>  ・本時の課題を確認後，前時の振り返りから個人のめあてをもてるようにする。  ・楽しい雰囲気スタートできるように乗りの良い曲で準備運動をする。
展開 10分  27分	4 マット運動 ・側方倒立回転の練習をする。 ・側方倒立回転の発展技に挑戦する。 ロンダード ホップロンダード 側転前ひねり ホップ側転前ひねり 5 表現 ・グループでテーマに合わせたひとまとまりの表現をする。 （テーマ1：地球誕生） （テーマ2：森林破壊） （テーマ3：四季の変化）	・自分の能力に合った場で発展技の練習をする。  □自分のできる技を増やすことができたか。（観察・ノート） <b>◆ポイント（空間の崩し）を提示し，よりテーマに沿った表現を行うにはどうすれば良いかを問いかけ，児童同士の交流につなげる</b> <b>（手立て2）</b> ・いくつかのテーマから任意に選んだ動きについて即興的に動きを考える。 ・ゆっくりな曲を流し，表現しやすい雰囲気をつくる。 □グループで構成を考え表現することができたか。（観察・ノート）
終末 5分	6 まとめ・振り返り ・本時の振り返りをする。	・本時の課題にそった振り返りと，活動の中でつかんだポイントなどを書かせる。 <b>◆体育ノートできるようになったことや，今まで学習してきたこととの関連づけ，友達の良いところを見つけている児童を意図的に紹介し，全員で共有する。</b> <b>（手立て3）</b>

### (3) 場の設定

表現のスペースとして解放

壁倒立用

壁倒立用



壁倒立用

壁倒立用

